

## はじめてのクラシック

Introduction to Classical Music

「帰りのチャイム」として日本でもすっかりお馴染み、〈遠き山に日は落ちて〉の原曲である《新世界交響曲》の作曲家。チェコの田舎で生まれ育ち、ブラームスにその才を見出されて《スラヴ舞曲集》で作曲家として成功をおさめたのは30代後半になってから。郷愁を誘うようなのびやかな美しいメロディを多く生み出した。家庭生活と故郷の自然を愛し、正直で朴訥なクラシック界屈指の癒しキャラ。

# B

2025  
JANUARY  
[第2030回]  
🎵🎵

Antonín Dvořák (1841–1904)

# 次から次へと紡がれる、なつかしく美しいメロディ アントニン・ドヴォルザーク

## 趣味で鳩を飼う

作曲家としての収入が安定すると、ドヴォルザークは小さな村・ヴィソカーにあった古い羊飼いの小屋を改装して夏の別荘とした。村でのスローライフを満喫しながら、この地で鳩を飼うことが大きな楽しみになったという。演奏旅行でイギリスを訪れた際には、ドヴォルザークの趣味を知ったイギリス王室からイギリスの鳩が贈られた。

ヴィソカーの別荘で鳩にエサをやるドヴォさん  
《交響曲第8番》もこの別荘で（鳩と一緒に）作ったヨ！  
イラストレーション：©IKE

